

# 令和5年度学校の教育目標と経営方針

## 1 本校経営の基本方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法をはじめ，教育諸法規，学習指導要領，県・市の教育施策，及び教育課題・基調を踏まえ人権尊重の精神を基盤に据えた学校経営にあたる。
- (2) 久留米市教育振興プラン（令和2～7年度）に基づいた弓削小学校プランを作成し教育活動を推進する。
- (3) 校区や学校の伝統と児童の実態，保護者や地域社会の願い等に立脚し，本校教育を推進する。
- (4) 教育の効果は，子どもの姿の変容にあることを基本に，下記の5つの基本的な姿勢を持って職務遂行に努める。
  - ① 一人一人の子どもをかけがえのない存在として認識し，生命を大切にし，いじめや差別，偏見のない人権尊重の精神が貫かれた学校・学級づくりに努める。
  - ② 豊かな心・確かな学力・健やかな体の育成を目指し，授業で子どもを伸ばす。
  - ③ 実践的指導力の向上のために，キャリアステージと個々が設定した主題（課題）に応じた職員研修で自己研鑽に努める。
  - ④ 子どもも教師も，一人一人の個性や持ち味が発揮できる明るく温かい学校を継続する。
  - ⑤ 「さらに何かを変えて」新たな成果につなげる姿勢で臨む。

## 2 本校の教育目標

### 《本校の教育目標》

豊かな心と自ら学ぶ強い意志をもち、たくましく生きる子どもの育成

## 3 本校教育の具体的目標

### (1) めざす児童像

#### ゆ 豊かな心を磨く子

- 感謝や自他を尊重する心をもち，みんなと協力する子
- 地域の自然を愛し，命を大切にする子
- 進んであいさつをし，相手の立場を考えた言葉遣いができる子

#### げ 元気な心と体をつくる子

- 友だちと元気に外遊びをする子
- 目標を持って運動に励み，進んで身体を鍛える子
- 自ら健康・安全に気をつけて，望ましい食生活や規則正しい生活ができる子

#### つ 強い意志で粘り強くやりぬく子

- 目標をもって実行し，根気強くやり抜く子
- 善し悪しを判断し，正しく行動する子
- 働くことの喜びや苦勞がわかり，働くことをいとわない子

#### こ 個性を伸ばし，ともに学びあう子

- 学習の基礎・基本を身につけ，自分の感じたことや考えを表現できる子
- 学習のめあてをもち，進んで考えたり調べたりして解決しようとする子
- 自他の考えを出し合う学び方や学習習慣を身につけている子

### (2) めざす学校像<教職員と子どもの瞳が輝く学校>

- 常に教職員と子どもの笑顔があふれる学校（職場はいつも楽しい→学校はいつも楽しい）
- 礼儀と思いやりのある学校
- 保護者，地域と連携し，信頼され「子どもを通わせたい」と言われる学校

### (3) めざす教師像<スリム化された業務の中で自己を磨く教師>

- 子ども理解に努め，愛情と使命感をもって指導し，児童・保護者・地域から信頼される教師
- キャリアステージと自分の主題（課題）に応じて，人間性，専門性を磨き高める教師
- コンプライアンス（法令順守）意識や働き方改革の意識をさらに高め，実践できる教師
- 学校の教育目標の達成に向け，学校経営にさらに進んで参画できる教師

### (4) めざす授業像<個別最適な学びと協働的な学び>

- 一人一人の意欲を引き出す工夫ある授業
- 基礎・基本の習熟を図り，確かな学力を育む授業
- 自他の考えを出し合い，共に学び合う授業
- 地域の教育資源を最大限に活用した体験型の授業

#### 4 本年度の重点目標

##### (1) 学校の課題

<b>【教育課題】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 基礎・基本となる知識・技能を身に付けて、自ら学ぶ意欲と自信をもつことができる子どもの育成</li><li>○ 自他を尊重する心を持ち、行動できる子どもの育成と受容的な集団づくり。弓削アクションプランを生かした不登校傾向の早期発見と個に応じた対応</li><li>○ 基本的な生活習慣の定着と共に、落ち着いて学習に取り組む構えのさらなる育成</li></ul>	<b>【経営課題】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ OJT(メンター、メンティ)による見える化された主題(課題)による即効性のある職員研修システムの構築</li><li>○ ICT(クロームブック等)を活用した授業研究の日常化</li><li>○ 衛生委員会や学期毎の評価を生かして、教職員の意識改革を確立し、業務遂行能力の向上と働き方改革の具体的・日常的な推進</li></ul>
---	---

##### (2) 重点目標及び重点となる活動

**基礎・基本を身につけ、考えを表現できる子どもの育成**  
**～くるめ授業スタンダードを活用した弓削っ子タイム・OJTの工夫を通して～**

##### (3) 令和5年度学校経営の重点(本年度の重点目標の達成にむけて)

#### 1 学びをつなぐ授業

(1) ゆげっ子タイムで、読書に親しむ子どもと国語、算数を中心とした毎時間の授業での基礎・基本を確実に身に付けた子どもの育成

※年度初めと各学期末に主題(課題)達成度が把握できる児童アンケートの実施

→主題(課題は、くるめ授業スタンダードの視点に基づいて

(2) 授業で、クロームブックを使いこなす。

- ・ タイピングのさらなる上達。 ・ 学年・教科等に応じて、クロームブックを使いこなす。
- ・ くるめ授業スタンダードでのクロームブックの活用(交流・個別課題等)

(3) 人権を基軸とした次の3視点を柱に授業を展開する。

- ・ 子どもの生活背景や事情を尊重しているか。
- ・ 学級で中核とする子どもが輝く授業になっているか。
- ・ 差別の現実に深く学ぶ授業になっているか。

#### 2 楽しい学校

(1) 「弓削アクションプラン」の初期対応の徹底で不登校になる前に、一人ひとりの児童の状況を把握し、対応を検討し全職員で共有する。SC・SSWの積極的活用

(2) 「けがを減らす」を合言葉に、安全を意識して行動する子どもの育成を目指す。

(3) よさを見つけ、しっかりほめる環境整備

#### 3 笑顔の先生

(1) 視点4(教師の意識・指導力の向上) : メンタリングを中心として個々人の主題(課題)解決のためのOJTによる職員研修 受容的な学級集団を土台とした学び合いで、基礎・基本の確実な定着をねらいとした授業を目指した校内研修。授業研究のみえる日常化

(2) 業務改善の取組(効率化と時間の確保) : 研修時間のさらなる弾力的な運用と実効性のある衛生委員会

(3) 風通しの良い職員室・事務室

職員同士が報告・連絡・相談することで、全職員が「安心して一緒に取り組んでいる」姿勢となり、さらに校長・教頭は、「一人一人の職員を守り、育てる」態度で対応する。

#### 4 協働する学校・家庭・地域

(1) 家庭学習振り返りカードによる家庭と連携した学習習慣の定着(学年に応じた学習の定着)

(2) 地域のひと・もの・ことを生かした学習等で、地域と連携した開かれた学校づくりによって学校が楽しいという子どもを増やす。

#### 【体力向上】

(1) 学級で遊ぶ日の外遊びの推進(1校1取組運動)

(2) 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進と規範意識の育成

#### 【自学自習】

(1) 基礎・基本の学習に進んで取り組む子どもの育成。